

緑化だより

No.145 平成30年12月号



クチナシの実

- 季節の花(ノキシノブ)
- 昆虫の話(にせドングリとタマバチ)
- 小さな世界こけ(干支にちなんだコケ)
- 研修会のご案内
- 展示会
- お知らせ・ご案内



ryokka 緑化センター

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町 10166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <https://ryokka-c.jp> E-mail hiroshima@ryokka-c.jp

季節の花

ノキシノブ

(百敷(ももしき)や 古き軒端(のきば)の しのぶにも

なほあまりある 昔なりけり)

「小倉百人一首」 100 番 順徳院

これを訳しますと

宮中の古びた軒に生えて下がっている忍ぶ草(ノキシノブ)を見ていても、忍んでも忍びつくせないほど思い慕われてくるのは古きよき時代のことです。時の重みを感じさせる忍ぶ草が軒先に生えて、今なお威厳を保っています。

この歌は後鳥羽上皇の息子である順徳院が20歳の時に詠んだ歌です。貴族の没落を深く悲しむ様子がかげがえします。そのころ保元・平治の乱が終わり、鎌倉幕府が成立し、400年以上続いた貴族の時代はすでに終わりました。1221年(承久の乱)、後鳥羽上皇の父子は鎌倉幕府に対抗しましたが敗れて、後鳥羽上皇は隠岐の島に、順徳院は佐渡ヶ島に流されました。その後、順徳院はそこでなくなりました。



ノキシノブ

和歌は貴族文化の象徴であり、藤原定家が順徳院の歌を「小倉百人一首」の最後に持ってきたことには深い意味が感じられます。藤原定家も同じ思いで、この時代を生き抜いてきたのでしょ。

ノキシノブは、ウラボシ科ノキシノブ属で葉は常緑のシダ植物です。北海道南部から日本全土、朝鮮半島、中国大陸、インドシナ半島、フィリピンに分布しています。神社や民家の樹幹、岩の上に普通に生えています。和名は家の軒先によく生えていることから、軒忍(ノキシノブ)と名がつけました。

学名にトゥーンベリ(C.P.Thunberg)を記念した名がついています。1775年に長崎に来て日本の植物を研究したリンネの弟子、スウェーデンの植物学者です。長崎から江戸へ行く途中、現在の神奈川県越戸で岩の上に生えていたのを採集したものです。

ノキシノブは観賞用にも植えられて風情を楽しんでいます。漢方薬としても利用されています。身近な公園の木々の樹幹に着生しているのを見ることができます。(上村)

昆虫の話

ニセどんぐりとタマバチ

冬になり、木々の葉が地面を覆い尽くす頃、葉の落ちたクヌギの木の枝に、もこもこと毛の生えた球状の塊を見る事ができます。クヌギのどんぐりの傘に似たその塊は何なのでしょう。これは、どんぐりの子供ではありません。虫の作った虫こぶです。この虫こぶの名前は「クヌギエダイガフシ」といい、「クヌギエダイガタマバチ」が作ったものです。クヌギエダイガタマバチは体長が5mm程度の小さなハチです。こんな小さなハチがどうやって虫こぶを作るのでしょうか。



クヌギエダイガフシ

夏に彼らが若い枝に産卵すると、幼虫の出す特殊な物質に反応し、木が勘違いをして実を作ろうとするため枝がふくれて、まるで実のような虫こぶができていくのです。虫こぶの中は木の実と同じで硬い皮に覆われて、栄養が多く運ばれてきます。彼らの幼虫たちはその中で守られ、栄養豊富な虫こぶの中を食べながら成長していきます。

彼らは、冬～春にかけて成虫になり、クヌギエダイガフシに穴を開け、這い出してきます。出てきた蜂はすべてがメス。オスはおらず、交尾をせずに来年の花になる冬芽に産卵します。翌年咲いた花に卵からかえった幼虫が寄生し、「クヌギハナコツヤタマフシ」という別の虫こぶができます。5月ごろ、その虫こぶから新しい成虫が羽化してきます。今度は少し体が小さく、オスもメスも出てきます。交尾をして、また、若い枝に卵を産み、「クヌギエダイガフシ」を作るのです。オスがいたり、いなかったりとても奇妙な生活環です。冬の落ち葉や枝を使って工作などをしたりする機会もあるかもしれません。しかし、虫が苦手な方は面白いからといって「クヌギエダイガフシ」を使うことはやめた方がいいのかもしれない。（広島市森林公園こんちゅう館 藤井）



クヌギエダイガフシ中の幼虫



クヌギエダイガタマバチ

小さな世界こけ

干支にちなんだコケ

1年が経つのは早いものでもう12月。師走を迎えると年賀状の準備や来年の干支が気になります。干支にちなんだコケにはどんなものがあるのでしょうか？

来年の干支は亥。動物ではイノシシがあてられ、コケではイクビゴケがあります。

イクビゴケは崩れかけた山肌のやや湿った土に見られ、幅広の葉がロゼット状につきます。胞子体を包む葉は葉先が毛のように細長く伸びています。その中に卵型の胞子体をつけますが、柄が短いため毛に包まれているようです。

イクビは猪首のことで、毛に包まれた中から猪の首が出ているように見えるところからつけられました。

次の干支は子。動物ではネズミがあてられますが、コケではネズミノオゴケがあります。

このコケは一度見れば覚えられる、わかりやすいコケです。石垣や木の根元などに群落をつくり、細長い茎に、ウロコのように重なり合って密着した葉がついています。その姿をネズミの尾に見立てた名前です。

他には、寅;トラノオゴケ、辰;フリュウビゴケ、巳;ジャゴケ、午;ウマスギゴケ、未;ヒツジゴケ、酉;クジャクゴケ、トサカホウオウゴケなどがあります。（山根）



イクビゴケ



ネズミノオゴケ

研修会のご案内

- 12月 2日(日)『クリスマスリース作り』
自然素材でリースを作ろう
※ 要予約 (キャンセル待ち)、材料費 500 円
10:00～12:00 学習室 集合
講師 : 森林インストラクター
長井 稔
- 12月 9日(日)『第2回ひろしま遊学の森
「四季の移ろい」写真コンテスト公開審査』
審査と全応募作品の講評
※ 自由参加・無料
10:00～12:00 学習室 集合
講師 : 二科会会員
宗岡 泰昭
- 12月 15日(土)『樹木講座～常緑樹編～』
特徴や見分け方を学び、識別テストに挑戦しよう
※ 自由参加・無料、
10:00～12:00 学習室 集合
講師 : 森林植物研究家
埤田 宏
- 12月 21日(金)『しめ縄作り』
自作のしめ縄で新年を迎えよう
※ 要予約 (キャンセル待ち)、材料費 700 円
10:00～12:00 学習室 集合
講師 : 小河原わら工芸会
- 12月 22日(土)『ミニ門松作り』
正月飾り作りを体験しよう
※ 要予約 (キャンセル待ち)、材料費 1,000 円
10:00～12:00 学習室 集合
講師 : 三良坂竹工房指導員
諫早 良雄
- 1月 6日(日)『春の七草 学んで試食』
七草について学び、七草粥を試食しよう
※ 要予約 (先着 30 名)、無料
10:00～12:00 学習室 集合
講師 : 森林インストラクター
長井 稔

◎ 展示会

場所:レストハウス

(ガラスケース展示)

・ふれあい湧 クラフト作品展 12月 5日(水) ～ 2月 24日(日)
(パネル展示)

・ひろしま遊学の森

「四季の移ろい写真コンテスト作品展」

12月 15日(土) ～ 1月 27日(日)

♪☆お知らせ・ご案内☆♪

・合格祈願「ヤマコウバシ」のお守り

管理事務所にて1人1枚、無料

・12月の休園日は3・10・17日(月)、25日(火)、
および12月29日(土)～1月3日(木)です。



昨年のふれあい湧「クラフト作品展」より

～ 森林公園 イベント情報 ～

臨時休園中のため下記イベントを広島県緑化センターで行います。

- ・12月 2日(日) クリスマスメンコで遊ぼう
13:30～15:00 当日受付 (学習室)
- ・12月 9日(日) 第2回ひろしま遊学の森
「四季の移ろい」写真コンテスト公開審査
10:00～12:00 自由参加 (学習室)

～ 森林公園・こんちゅう館 臨時休園のお知らせ ～

7月の西日本豪雨のため、当分の間
臨時休園します。
ご迷惑をおかけしますが、
ご理解とご協力をお願いいたします。